

「概念」「価値」「発展の経緯」「社会的貢献」の四つの軸から総合的な評価が行なわれ、受賞者が決定される。今回は7500件以上のエントリーの中から134件のファイナリストが選出され、さらに選び抜かれた45件が金賞を獲得した。

「ベジタブル・ファクトリー」は、スプレッドが保有する野菜工場の栽培技術やノウハウを生かし、国内の設備・技術メーカーとの共同開発により完成した最先端野菜生産システム。環境対応と低コストを実現し、場所を選ばず安定した野菜生産が可能となるため、多くの国や地域における産業振興や食料安全保障に貢献することができる。

この新システムにおいて、大規模野菜工場による栽培自動化、水資源リサイクル、自社開発野菜専用LED照明、空調制御システムなど、多くの新技術が誕生している。また野菜工場の大きな課題であるコスト面でも、現在、自社運営の野菜工場「亀岡プラント」と比較し、人件費50%、電力費30%など大幅なコスト削減を実現している。

トレードグループのスプレッド

「エジソン賞」金賞に

植物工場の野菜生産システムで

市場間転送などを手掛けるトレード（稲田信二社長、京都市下京区）の

グループ会社、スプレッドが開発した「ベジタブル・ファクトリー」が今年の「エジソン賞」の農業・園芸分野において金賞を受賞した。革新的な

農業・園芸技術として世界的に評価された。

エジソン賞は、発明家トーマス・エジソンの名を冠することからも分かる通り、新製品やサービスの技術革新と革新者を称える授賞プログラム。AMA（米国マーケティング協会）が198

7年から各分野における「世の中を変える革新」を表彰しており、200

8年からは非営利公益法人エジソン・ユニバーシティが運営。製品開発、デザイン、工学、科学、教育など多様な分野のプロフェッショナル3千人を超える委員会によって

「ベジタブル・ファクトリー」は、スプレッドが保有する野菜工場の栽培技術やノウハウを生かし、国内の設備・技術メーカーとの共同開発により完成した最先端野菜生産システム。環境対応と低コストを実現し、場所を選ばず安定した野菜生産が可能となるため、多くの国や地域における産業振興や食料安全保障に貢献することができる。

この新システムにおいて、大規模野菜工場による栽培自動化、水資源リ